

中村高等技術学校に求められる役割

- 施設内訓練では産業界のニーズに沿った基礎的な技能・知識の習得等の訓練を実施し、地域産業を担う人材を育成・輩出する。
- 在職者に対しては産業界や企業のニーズにあった在職者訓練を実施し、企業在職者にとって必要な資格取得やスキルアップを図る。

5年後（令和7年度まで）の目指す姿

【施設内訓練（普通課程）】

- 入校選考応募率 100.0%
- 自己都合による中途退校率 5.7%
- 就職率（うち関連就職率） 98.1%（92.2%）

【施設内訓練（短期課程）】

- 入校選考応募率 116.0%
- 自己都合による中途退校率 0.0%
- 就職率（うち関連就職率） 85.7%（72.7%）

【在職者訓練】

- 受講者数（累計） 1,140人（R3～R7累計）※両校の合計

目指す姿を達成するために

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

- 入校選考応募率
 - ・デジタル技術も活用した情報発信の強化
- 自己都合による中途退校率
 - ・生活相談員の配置
- 就職率（うち関連就職率）
 - ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施
 - ・インターンシップの実施
- その他全般に関する取組
 - ・オンライン訓練、ICTを取り入れた訓練の実施
 - ・技能五輪全国大会や各種技能競技大会への選手派遣
 - ・職業訓練指導員の資質・指導力向上

【在職者訓練】

- 受講者数
 - ・レディメイド、オーダーメイドによる在職者訓練の実施
 - ・外国人労働者に対する在職者訓練の実施

R4年度の主な取組と実績

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

■ 入校選考応募率

普通課程：40.0%（目標値100.0% 達成度D）
短期課程：100.0%（目標値108.0% 達成度B）

- ・民間のノウハウを活用した広報活動の充実
テレビCM放送（計45本）
YouTube広告（インストリーム広告（15秒）表示：計239,533回）
Instagram広告（静止画バナー表示：計315,839回）
シオターゲット広告（対応アプリへの広告表示：計1,316,206回）
PVの放映（ケーブルTV3社）
- ・Twitterによる「日々の訓練の様子」や「学校行事の紹介」（238回/年）
- ・指導員や職員（校長、副校長）による学校および関係機関への訪問（中学校69校、高等学校10校、建築・建設会社10社）
※新たに女子校訪問を実施
- ・四万十ハローワークとの連携による広報（パンフレット及びリーフレットを相談窓口配置）（通年）
- ・高知県建設労働組合との情報共有（8月）
- ・オープンキャンパスによる学校紹介、入校案内（2回）
- ・出前授業の実施（高等学校2校、小学校1校）
- ・ものづくり教室の開催（8月）
- ・学校イベント「ワクワクWORKキッズフェス」の開催（10月）
- ・地域おこし協力隊との連携（道の駅ふれあいパーク大月へ展望台寄贈（3月））

■ 自己都合による中途退校率

普通課程：10.0%（目標値5.7% 達成度 D）
短期課程：6.3%（目標値0.0% 達成度 -）

- ・生活相談員を継続して配置（週2日）し、訓練生の相談に対応（延べ相談人数 119人、延べ相談件数 414件）
- ・学校職員や舎監による訓練生の生活支援
若鮎寮生活での食事、舎監による見守りと規律維持
- ・訓練生の欠席日の家庭訪問（5回）

■ 就職率（うち関連就職率）

普通課程：71.4%（80.0%）（目標値98.1%（92.2%）達成度C（B））
短期課程：83.3%（40.0%）（目標値85.7%（72.7%）達成度B（D））

- ・企業見学の実施（3社）
- ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施（3回/1人）
- ・インターンシップの実施（3科 7社）
- ・幡多地域建築系人材育成推進協議会の開催（11月）
- ・幡多管内の建築業者で構成する各種会合（四万十市建築協会、幡多建築業協同組合他）への出席、学校PR（7月～12月）

■ その他全般に関する取組

- ・ICTを取り入れた訓練（1科40時間）を実施
- ・若年者ものづくり競技大会に訓練生（木造建築科 2年生）が出場（1名）
- ・各種研修への参加（丸のこ等取扱い作業従事者教育 5月）

【在職者訓練】

■ 受講者数 5人（目標値18人 達成度 D）

- ・一級建築大工技能検定の展開図作成 3人
 - ・丸のこ等取扱い作業従事者安全衛生教育 2人
 - ・自由研削砥石取替・試運転安全教育 0人
- 合計 5人

R5年度の主な取組（第1四半期の取組と今後の予定）

【施設内訓練（普通課程・短期課程）】

■ 入校選考応募率（目標値 100.0%（普通課程） 108.0%（短期課程））
＜第1四半期の取組実績＞

- ・Twitterによる「日々の訓練の様子」や「学校行事の紹介」（105回/6月末）
- ・指導員がハローワーク四万十で資料配付と個別相談を実施（4～6月）
- 拡 西部教育事務所との連携、四万十市教育長ほか訪問（19カ所）
- ・出前授業の実施（高等学校1校、6月）
- ・若者の学び直しと自立支援地区別連絡会議への参加（4回出席）
- ・高等学校進路担当者会議への出席（2地区）
- 新 地元タウン情報誌にて指導員の紹介（4月）
- 新 四万十市PTA連合会の学校視察受入（6月）

＜第2四半期以降の取組予定＞

- ・学校イベント「ワクワクWORKキッズフェス」の開催（10月）
- ・テレビCMやオンライン広告を実施
- ・地元タウン情報誌への学校行事案内掲載（「はたも～ら」7/5号掲載予定）
- ・教育機関（市町村教育委員会、中学校、高等学校等）への訪問
- ・オープンキャンパスによる学校紹介、入校案内（2回）
- ・出前授業の実施（高等学校1校、9月）
- ・ものづくり教室の開催（7、8月）
- 拡 地元タウン情報誌への学校行事案内掲載（「はたも～ら」7/5号掲載予定）
- 拡 教育機関（市町村教育委員会、中学校、高等学校等）への訪問

■ 自己都合による中途退校率（目標値 5.7%（普通課程） 0.0%（短期課程））

- ・引き続き生活相談員を配置（週2日）し、保護者とも連携することで、訓練生の支援体制を強化（通年）
- ・学校職員や舎監による訓練生の生活支援（通年）

■ 就職率（関連就職率）

（目標値 98.1%（92.2%）（普通課程） 85.7%（72.7%）（短期課程））
・企業見学の実施
・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティングの実施（3回/1人）
・インターンシップの実施

■ その他全般に関する取組

- 拡 職員能力開発総合大学校が実施するVR研修の受講（1名）
- 新 ICTを取り入れた訓練（1科130時間）を実施
- ・若年者ものづくり競技大会に訓練生（木造建築科 2年生）が出場（1名）
- ・工業系高等学校教諭対象の技術研修を実施（8月、3月）
- ・幡多地域の建築業者等で構成する人材育成団体との連携（通年）
- 新 学生寮のWi-fi環境整備（7月）
- ・西部管内各市町村教育長への学校PR説明（10月～12月）

【在職者訓練】

■ 受講者数（目標値18人）

＜第2四半期以降の予定＞ 4コース 定員30人

- 新 基礎級左官実技試験事前講習（技能実習生） 定員 4人（8月）
- ・丸のこ等取扱い作業従事者安全衛生教育 定員10人（9月）
- ・自由研削砥石取替・試運転安全教育 定員10人（10月）
- ・一級建築大工技能検定の展開図作成 定員 6人（12月）